

データサイエンス共同利用基盤施設
平成 29 年度 第 6 回運営会議 議事概要

日 時：平成 30 年 3 月 2 日（金）13:00～17:00

13:00～15:00 運営会議 : 委員のみ参加

15:00～17:00 研究交流セミナー：委員以外の DS 施設職員も参加

場 所：データサイエンス棟 1 階 多目的会議室、共通作業エリア
(東京都立川市緑町 10-3)

出席者：【内部委員】藤山委員、野水委員、小原委員、門倉委員、吉野委員、北本委員、
野口委員、中野委員

【外部委員】町田委員、岩崎委員、近藤委員、諏訪委員、高橋委員、椿委員、
矢嶋委員

【陪席】馬場 CD、川俣 DS 推進係長

議 題：

13:00～15:00 運営会議：委員のみ参加

審議事項

1. 平成 30 年度予算について（予定）
2. 平成 30 年度規則改正について
3. 平成 30 年度計画について
4. 平成 30 年度人事について（新規採用、客員ほか）
5. 平成 30 年度公募型共同研究について

報告事項

6. 特任専門員等の期間の定めのない労働契約の締結に関する基準について
7. 利益相反ガイドライン、利益相反委員会要項について
8. 名義使用について
9. 学術交流・協力に関する覚書
10. その他
 - ・平成 30 年度運営会議委員について

平成 29 年度実績および平成 30 年度計画について（発表 5 分＋質疑 5 分）

- ・極域環境データサイエンスセンター
- ・人文学オープンデータ共同利用センター
- ・ゲノムデータ解析支援センター
- ・データサイエンス推進室コーディネータ

15:00～17:00 研究交流セミナー：委員以外の DS 施設職員も参加

事業内容紹介・意見交換（発表 30 分＋質疑 5 分）

- ・ライフサイエンス統合データベースセンター

- ・データ融合計算支援プロジェクト
- ・社会データ構造化センター

議 事：

13:00～15:00 運営会議：委員のみ参加

審議事項

1. 平成 30 年度予算について（予定）

藤山委員から、資料 1 のとおり、平成 30 年度機能強化経費（機能強化促進分）の予定額が文科省から示達された旨、報告があり、現在、機構内で予算編成中である旨、説明があった。

2. 平成 30 年度規則改正について

藤山委員から、資料 2－1 に基づき、情報・システム研究機構組織運営規則第 4 条に「データサイエンス共同利用基盤施設」が追記された旨、報告があった。続いて、平成 30 年度の機構本部組織再編により、DS 推進係を DS 施設から本部事務部企画連携課に移管する予定であるため、資料 2－2 のとおり、データサイエンス共同利用基盤施設規程を改正する旨、説明があり、審議のうえ了承された。

3. 平成 30 年度計画について

野水委員から、資料 3 に基づき、機構法人としての平成 30 年度計画のうち、DS 施設に関する記載について説明があった。高橋委員から、【19-1】「(前略) 大学等以外をも含めた広範なデータ駆動型学術研究の展開支援を継続する (後略)」の「大学等以外」とは何を指しているのかとの質問があり、野水委員から、今後はさらに広範な対象を支援していくという意図であるが、適切な表現に変更する旨、説明があった。

4. 平成 30 年度人事について（新規採用、客員ほか）

藤山委員から、資料 4－1 に基づき、平成 29 年度における職員の兼業状況について説明があった。続いて、資料 4－2 に基づき、平成 30 年度人事案件について各センター長から説明があり、さらに藤山委員から、平成 30 年度の各センター長については、現センター長を継続したい旨、発言があった。センター長の指名については、情報・システム研究機構組織運営規則第 58 条第 7 項において、機構長が指名した教授、准教授又は特任教授をもって充てることとされており、機構長にも事前に了解を得ている旨、発言があった。以上の人事案件については、審議のうえ了承された。

5. 平成 30 年度公募型共同研究について

藤山委員から、資料 5－1～5－7 に基づき説明があり、平成 30 年度公募型共同研究の実施について了承された。募集を開始した際には、各委員にも連絡するた

め、関係者への周知にご協力願いたい旨、発言があった。

報告事項

6. 特任専門員等の期間の定めのない労働契約の締結に関する基準について

藤山委員から、資料6-1～6-2に基づき説明があり、特任専門員等の期間の定めのない労働契約の締結に関する基準の制定について報告があった。

7. 利益相反ガイドライン、利益相反委員会要項について

藤山委員から、資料7-1のとおり、利益相反委員会の設置について報告があり、資料7-2のとおり、利益相反に関するガイドライン（案）を機構の利益相反委員会へ承認申請中である旨、報告があった。

8. 名義使用について

藤山委員から、資料8に基づき報告があった。

9. 学術交流・協力に関する覚書

吉野委員から、資料9に基づき説明があり、専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センターとの学術交流・協力に関する覚書を締結した旨、報告があった。

10. その他

・平成30年度運営会議委員について

藤山委員から、本運営会議委員については、平成28年度から2年の任期で就任をお願いしているが、各委員には平成30年度以降も引き続きご協力願いたいとの発言があり、後日、事務局から委員委嘱に関する連絡を行うこととなった。

平成29年度実績および平成30年度計画について（発表5分＋質疑5分）

門倉委員、北本委員、野口委員および馬場CDから、極域環境データサイエンスセンター、人文学オープンデータ共同利用センター、ゲノムデータ解析支援センターおよびデータサイエンス推進室コーディネータについての平成29年度実績および平成30年度計画について発表があり、各委員との質疑応答が行われた。

15:00～17:00 研究交流セミナー：委員以外のDS施設職員も参加

事業内容紹介・意見交換（発表30分＋質疑5分）

ライフサイエンス統合データベースセンター、データ融合計算支援プロジェクト、社会データ構造化センターの事業内容について、各センター教員等から発表があり、委員およびDS施設職員との質疑応答が行われた。

資 料：

0-1 データサイエンス共同利用基盤施設運営会議委員名簿

- 0－2 平成 29 年度第 2 回運営会議議事概要（案）
- 1 平成 30 年度予定額機能強化経費（機能強化促進分）等事項一覧
- 2－1 情報・システム研究機構組織運営規則新旧対照表
- 2－2 データサイエンス共同利用基盤施設規程新旧対照表（案）
- 2－3 （参考）情報・システム研究機構本部事務部事務分掌規程新旧対照表（案）
- 3 平成 30 年度計画（案）（機構法人としての年度計画－抜粋版－）
- 4－1 職員の兼業一覧（平成 29 年度～）
- 4－2 平成 30 年度人事案件
- 5－1 平成 30 年度公募型共同研究募集に関する事前予告
- 5－2 平成 30 年度公募型共同研究募集要項（案）
- 5－3 平成 30 年度公募型共同研究申請書（案）（一般共同研究）
- 5－4 平成 30 年度公募型共同研究申請書（案）（共同研究集会）
- 5－5 平成 30 年度公募型共同研究審査要項（案）
- 5－6 平成 30 年度公募型共同研究流れ概念図（案）
- 5－7 平成 30 年度公募型共同研究申請時の留意点（案）
- 6－1 情報・システム研究機構に期間を定めて雇用される者の職名、適用就業規則および無期転換権が発生する旨の根拠法令の対比表
- 6－2 データサイエンス共同利用基盤施設における特任専門員等の期間の定めのない労働契約の締結に関する基準
- 7－1 データサイエンス共同利用基盤施設利益相反委員会要項
- 7－2 利益相反に関するガイドライン（案）※機構利益相反委員会承認手続中
- 7－3 （参考）情報・システム研究機構利益相反ポリシー
- 8 名義使用許可書（国立国会図書館、国文学研究資料館）
- 9 専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センターとの学術交流・協力に関する覚書

以上